

令和5年度学校生活アンケートの考察

- 1 「テレビやゲームの時間は決めている」の項目については、昨年度よりも肯定的な意見が増えています。ご家庭において、ルールづくりや取り組ませ方などの働きかけを行っていただいた結果と考えています。現在、タブレット端末の持ち帰りを進めておりますが、今後も学校と家庭が連携しながらICT機器の扱い方や使用方法などについて、児童の発達段階に応じた支援ができるように努めてまいります。
- 2 どの項目も8割以上が肯定的な回答となっており、学校生活において満足感を持っていることがうかがえます。ただ、「よくあてはまる」の項目のみで見ると、昨年度よりも下回っているものもあり、また「あまりあてはまらない」という回答が増えています。特に以下のことについては、改善を図っていく必要があると考えています。
 - 「あいさつや返事をしている」の項目では、「あまりあてはまらない」という回答が増えました。別紙にて既に記載をした通り、保護者アンケート・教職員アンケートからも見出された共通の課題です。今後、様々な集会や学級で行われている朝の会・帰りの会・学級活動などの機会を利用して児童へ働きかけ、意識付けを図ってまいります。
 - 「ものを大切にし、身の回りをきれいにしようとしている」の項目では、「あまりあてはまらない」という回答が増えました。今後は、自分のものも、みんなで使うものも、共に大切に扱えるように指導を継続しながら、机上や机の中、ロッカーの整理に取り組みせたり、教室や廊下の棚・掲示物を整えたり、といった日々の取り組みを充実させてまいります。

令和5年度教職員自己評価アンケートの考察

- 1 「基本的な生活習慣が身につくように指導している」において、肯定的評価が大きく増加しています。基本的な生活習慣の定着は学習への取り組み方にも関わる大切なものです。教職員は、身に付けさせたい習慣について重点的に指導をしており、一定の手応えを感じていることがわかりました。今後も、生活する上で大切にしたい原則的な考え方や行動の仕方、人との関わり方などを身に付け、学校生活を充実できるように支援してまいります。
- 2 どの項目も肯定的な回答とはなっていますが、児童の学校生活アンケートと同様の課題があることがわかりました。
 - 「あいさつや返事をしている」の項目では、「よくあてはまる」が減り「あまりあてはまらない」が増えました。繰り返しになりますが、これは、保護者・児童・教職員いずれのアンケートからも見出されている共通課題です。前述のとおり、様々な機会を捉えて指導に努めてまいります。
 - 「ものを大切にし、身の回りをきれいにしている」において、昨年度より否定的な評価が大きく増えています。これは、児童の学校生活アンケートでも見出された課題と同じであり、また、保護者アンケートにおいても否定的な回答が多かった項目でもあります。この点についても、前述のとおり、ものもの大切さや整理整頓、美化といったことに意識を向けて生活できるように配慮してまいります。